

愛知県自然環境保全地域

# 小堤西池



 愛知県



## 愛知県自然環境保全地域とは

わたしたちが、健康で文化的な生活を享受していくためには、単に物質的な豊かさのみでなく、自然とのかかわりの中で、豊かな精神性を養うことが必要です。自然は、生命をはぐくむ母体であり、単に経済活動のための資源としての役割を果たすのみでなく、それ自体が豊かな人間生活に不可欠な役割をもっています。

このため、自然環境保全施策の基本となる法制度として、国においては、昭和47年に「自然環境保全法」が、愛知県においては、昭和48年に「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」が制定されました。

愛知県自然環境保全地域は、この条例によって指定されるもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地などの貴重な自然環境を有する地域を、わたしたちの共通の財産として、将来にわたって保全しようとするものです。



## 小堤西池の自然

小堤西池は南北にはしる丘陵のふもとにある水田かんがい用の池で、かつて、この地方の池や湿地に野生(自生)していた水生や湿生の植物が残る貴重な池です。この池を代表するカキツバタは、わが国の中部より北の地域で、池沼の岸辺や湿地に育成していましたが、地域開発で姿を消し、野生状態のものはほとんど残っていません。小堤西池のように人家近くの丘陵ふもとに、このように大規模に自生しているところは他に例がありません。また、この地域は、丘陵林、ため池、水田と昔ながらの景観を今に残す貴重なところでもあります。

この池には、カキツバタ以外に、岸辺にノハナショウブ、ヌマガヤ、イヌノハナヒゲ、コマツカサススキなどの湿生植物や池の中にはカンガレイなどの水生植物が生育しており、豊かな自然を形成しています。



### カキツバタ (アヤメ科)

浅い水辺や湿地に群生する多年草でアヤメ科に属します。

愛知県版レッドデータブック(植物編)において、絶滅危惧Ⅱ類とされ、適切な保全が必要です。

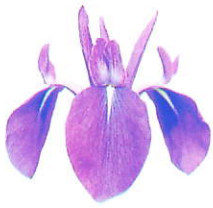


## 小堤西池のカキツバタ

開花時期：5月上旬に咲きはじめ、5月いっぱい咲きます。例年、15日から25日頃が見ごろ。

花の変異：花の色は、さえた青紫色がいちばん多く、濃い青紫色、うすい青紫色や赤紫色の花も池の各所でみられます。

外花被片(がく)、内花被片(花びら)などの形や数がちがう花、八重咲性、よれ咲性の花も見られます。



濃い青紫色の花



さえた赤紫色(紅色)の花



八重咲性の花



四英の花  
外花被 4 枚、内花被 4 枚の花



五英の花  
外花被 5 枚、内花被 5 枚の花

## 小堤西池の主な植物



### ノハナショウブ(アヤメ科)

カキツバタと同じアヤメ科に属する多年草ですが、湿地だけでなく、乾地にも生育します。

6月頃に開花し、花の中央部に黄色の細かい斑紋が見られるのが特徴です。

### ノカンゾウ(ユリ科)

草原などに生育する多年草でユリ科に属し、夏にユリに似た橙赤色の花を咲かせます。

花は朝咲いて夜にはしぼむ一日花であるのが特徴です。



### サギソウ(ラン科)

その名のとおりサギが羽を広げたような美しい花を咲かせます。7月頃が見ごろです。

近年、減少傾向が著しく、愛知県版レッドデータブック(植物編)においても、絶滅危惧Ⅱ類とされており、適切な保全が必要です。

### カンガレイ(カヤツリグサ科)

日本各地にみられる多年草でカヤツリグサ科に属し、夏に花を咲かせます。

「カンガレイ」という名は、冬に枯れた枝を残すところから名付けられました。



## 池東部の丘陵林

池東部の丘陵林は、小堤西池のかん養林として大切な役割をはたしています。そのため、池とこの丘陵林を含めて保全地域に指定されています。

丘陵林は、主に、竹林(ハチク群落)、コナラ群落で占められています。丘陵の背部には、ウバメガシ群落が発達しています。



# こづみにし いけ 愛知県小堤西池自然環境保全地域の保全計画

(昭和53年3月24日指定)

## 指定理由

小堤西池は、カキツバタの自生地として国の天然記念物に指定されているが、池内にはカキツバタのほかに、稀産のトンボ数種類の生息が確認されている。

このようにすぐれた自然環境も、周辺の宅地化が進み自然環境が損なわれるおそれが多分にあるので、この生態系を保全するため、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例第20条第1項第4号の植物の自生地及び野生動物の生息地として愛知県自然環境保全地域に指定するものである。

## 保全計画

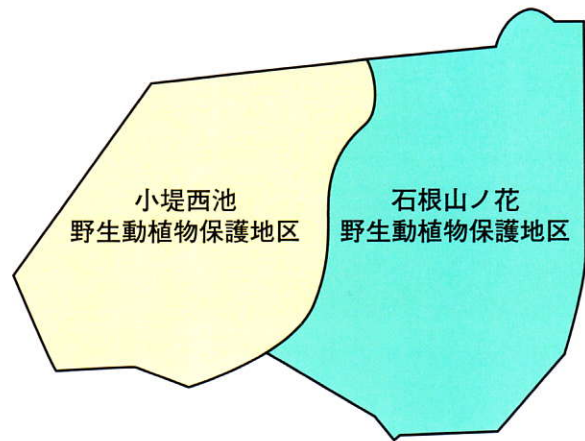
### 1. 保全すべき自然環境の特質

池及びその周辺には水深の状況等に応じて各種の水生植物、湿地植物が自生し、一定の生態系を形成している。

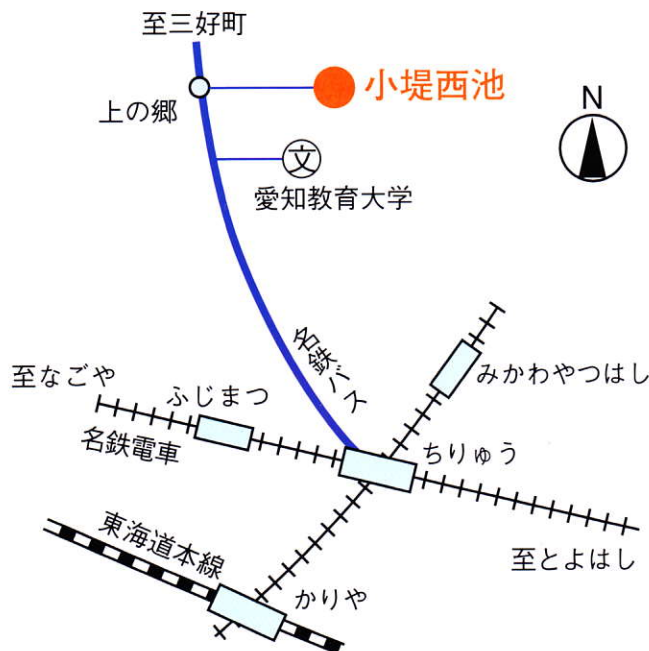
これら植物群落の中で代表的なものはカキツバタであり、かつてはこの西三河地方に広く自生していたものと考えられるが、小堤西池は現在ではこの地方唯一の自生地となっている。

## 2. 面積

全域	特別地区
全域	野生動植物保護地区
5.83 ha	



小堤西池自然環境保全地域区域図



所在地 刈谷市井ヶ谷町小堤西1

## 問い合わせ先

愛知県環境部自然環境課  
名古屋市中区三の丸3-1-2  
電話 (052) 961-2111 (代)

愛知県西三河事務所環境保全課  
(平成14年3月までは林務課)  
岡崎市明大寺本町1-4  
電話 (0564) 23-1211 (代)

刈谷市教育委員会文化振興課  
刈谷市東陽町1-1  
電話 (0566) 23-111 (代)

愛知県リサイクルマーク



再生紙(古紙配合率100%)を使用しています。

※このパンフレットを作成するにあたり、杉浦正日氏(小堤西池のカキツバタを守る会顧問)及び浜島繁隆氏(愛知県環境審議会専門調査員)のご協力を受けました。